

# ニュース

第202号

発行日 平成31年4月19日  
 発行者 社会福祉法人 みのり会 中台育心園 園長/千葉桂資  
 〒311-2213 茨城県鹿嶋市大字中431-20  
 電話 0299 (69) 2222  
 FAX 0299 (69) 2237  
 ホームページ <http://nakadaikushinen.jp/>

## 今月の生活目標

### 【単 元】

- 火災予防習慣
- 一年間の反省



### 【目 標】

- 避難訓練に参加し、敏速に行動できるようにしましょう。
- 1年間を振り返り、自分の役割の仕事が遂行できたかどうかを反省し新しい年度の心構えを持ちましょう。

## 「茨城県グループホーム等 連絡協議会について」

茨城県グループホーム等  
連絡協議会会長(中台育心園園長)  
千葉桂資

茨城県グループホーム等連絡協議会は、平成7年に発覚した知的障がい者の虐待事件「水戸アカス事件」をきっかけに、二度と悲惨な事件が繰り返されないよう、当時の県内のグループホーム(以下、「GH」という。)や通勤寮、生活ホーム等を営む事業者の有志で、平成9年6月に結成した任意団体です。

初代会長が当園の前園長ということもあり、2代目会長の植村勝氏(前尚恵成人寮施設長)のご推薦により3代目を任せられ、恥ずかしながら早9年が過ぎようとしています。

会員事業所の設置主体は、社会福祉法人、NPO法人、株式会社等と様々で、平成30年8月現在で、県内195あるGH事業所の内、58の事業所に協力をいただいております。

当協議会は、GH事業所間の連絡を密にし、GH運営の充実と親睦を図ることを目的として、主に次の事業活動を行っています。

①GH等の制度と運営の方法について研究し、会員事業所の運営の充実を図る(職員研修・情報交換会)。

②要望をまとめ、関係機関への連絡調整等に当たる。  
 ③会員相互の親睦に関することを企画・実施する(交流会)。

特に、GH等で働く世話人さんや生活支援員さんが悩みを抱え込んだり、閉鎖的な支援環境を作らないよう、情報交換や話題提供の場を設けたり、GH支援に必要な内容の研修を回数は少ないですが、定期的に行っております。

今年2月の研修では、全国的にGHでの虐待件数が増えていることから、怒りの感情と上手に付き合ひ、後悔しないための「アンガーマネジメント」の手法を学びました。「支援の中でイライラすること」をグループワークで出し合い、解決に向けて話し合う中で、笑顔の出る研修となりました。

一方、各GH事業所の利用者さん達にも、楽しい交流の場を設けています。県域を県央・県北、県西、県南の3地区に分け、幹事となる事業所のご協力を得て、行事の企画・運営をお願いしています。運動会、茶碗作り、ボウリング大会、ぶどう狩り、バーベキュー、燻製(くんせい)づくり等と、内容に富んでいます。

皆と様々な経験や体験を通して、友達づくりや活動への関心を高めていただき、障がいのある方達の社会参加を少しでも促せればと考えています。

最近では、各地区とも利用者の参加人数が百人を超えるようになり、企画運営上の課題が出てきています。

この連絡協議会は、各事業所のご理解とご協力があつて成り立っています。福祉事業所で働く担い手が見



県南地区交流会「社交ダンス」

つからない時代に突入し、今年の4月からは、時間外労働の上限規制、年次有給休暇の確実な取得、正規職員と非正規職員の不合理な待遇差の禁止などの働き方改革関連法が順次施行されます。

職員処遇の改善は欠かせないものです。反面、GHは少ない職員数で利用者の生活を支えていますので、休日の他に各種休暇があり、更に働き方改革で年次有給休暇の取得が押し進められると、担い手不足の背景から、事業所はその日の職員配置に

苦慮してしまいます。必然的に、当連絡協議会の交流会行事や研修会への不参加も懸念されます。

茨城県グループホーム等連絡協議会は、23年目に入ろうとしています。国が推し進める地域生活支援事業の拡充で、急激にGH数が増えてきました。今後皆さまのお力添えをいただきながら、現状の課題を捉え、情報交換をしながら解決に向けて模索し、良質なGHサービスの提供の一端を担えるよう機能させていきたいと考えます。

## 「マイウェイに行く」

相談支援専門員 千葉浩子

まさか！の出来事に自分の状態を受け入れることができませんでした。今年の1月にやっと職場復帰ができましたが、まだまだリハビリを要する状態で、今後もしも迷惑をおかけすることと思ひ、心苦しう思っています。

自分の病状を受け入れることができるまでには長い長い時間がかかりました。昨年の6月12日に脳内出血で緊急入院。集中治療室での治療、何度にもわたるCT・MRI検査、カテーテル検査の結果、左前頭部に脳動静脈奇形が見つかり、摘出手術に踏み切りました。信頼のおける担

当医のおかげで手術は無事成功。リスクは多々あったようですが生還できました。

脳内出血の影響で右片麻痺とてんかんの発症を余儀なくされました。1か月後、回復期対応の病院に移り、治療とリハビリを続け、退院後も週に5日間リハビリ通院し治療を続けてきました。私にとっては長く苦しい悩み多き半年でした。何度心も折れかけていた自分がいました。もちろん家族にとってもそうだったことでしょう。

入院中は、頭痛や身体の痛みで眠れない日々が続く、何度も「自分は蘇ることは出来ない…」という現実を突き付けられていました。でも、「繋いでもらった命。それならば、元通りになりたい！何が何でも治す！」と心に誓いリハビリを続けてきました。そしてこれからも。まだ諦めていません。だから焦燥感いっぱいの日々ですが…。

2月に入ってから週に1回の割合で、リハビリのPTさんに身体の状態のチェックと、日々の生活動作の取り方について等々アドバイスを受け、併せて精神面でのサポートもしてもらっています。もちろん、職場である中台育心園に於いても、園長はじめ、職員さんたちのサポートなしでは仕事を続けていくことが難しく、感謝の思いで勤務させてもらっています。

そして、何よりも利用者さんたち

とのやりとりが私にとっての励みになつていくことに気が付きました。昨年8月4日に、つくば国際会議場において、ミュージック・ケア全国セミナーが開催されました。オープニングとして「中台育心園の模擬演奏の発表」を請け負っていました。

が、私は発表に向けての準備期間に倒れてしまいました。まだ入院中だった私は、「何とかして指揮をとりたい！」という一心でリハビリに励み、主治医より外泊許可を頂き、周囲の方たちのサポートを頂いて、発表の会場で約3か月ぶりに利用者さんたちと再会することができました。一人一人と挨拶を交わしてハイタッチ！これだけで心が伝わったのか、発表の際の皆さんの集中力と気迫と一体感に驚き、感極まり、指揮をしながらも目頭が熱くなったことを覚えていきます。ミュージック・ケア関係者、会場の方々からも大きな拍手と称賛を頂くことができました。

発表に際して、私に代わって練習や準備等の対応をしてくれた職員さんたちに、遅ればせながらですが、紙面をお借りして、感謝の意を表したいと思ひます。「ありがたう！そして、今後とも利用者さんたちに寄り添った支援を続けていきましよう！」

今回の体験は私にとって「二度としたくない経験。でも、貴重な経験。」と受け止めて、自分の状態・今後もしも続いていくであろう生活お

び仕事のしづらさを受け止めながらも、今の自分に出来ることを模索し、今回の経験を生かして前向きに、マイウェイを歩んでいきたいと思ひます。

復職した現在もリハビリや受診に通っています。家族は勿論のこと、中台育心園の方々をはじめ、ミュージック・ケア関係の方々、日頃からお世話になつている方々には、大変ご心配ご迷惑をおかけしたと思ひます。遅ればせながら感謝申し上げます。ありがとうございます。復職できた今、自分なりのベストを尽くしていく所存でおりますので、ご理解いただき、温かい目で見守って頂ければ嬉しく思ひます。



今年の鬼さん大集合！（節分）

# グループだより

## ★ひまわりグループ

### 『助け合い』

今年2月、施設内でインフルエンザが流行し、ご家族の皆様には大変ご心配をおかけしました。

ひまわりグループでも数名が感染しましたが、そんな中、川尻さん、池田(勝)さん、沼田さんは体調を崩さず元気に生活されました。そしてこの3名の皆さんは、インフルエンザで活動できなくなった仲間の代わりに、日々の掃除や洗濯も積極的に協力してくれたのです。インフルエンザの猛威の中でもグループの日課が滞らなかつたのは、ひとえに川尻さん、池田さん、沼田さんが協力してくれていたからです。体調の回復した仲間には、口々に「ありがとうと声をかけていました。

3名の皆さん、本当にありがとうございました！  
(豊田(惇))

## ★すみれグループ

### 『機械浴でポカポカお風呂』

御年73歳の栗原さんは加齢と共に自力での歩行が困難になり、現在は車イスを使用しています。そんな栗原さんの入浴では、介助イスに座ってもらい、湯船までの移動も介助していましたが、浴槽の縁だけはどう

しても足を上げてもらわなければなりませんでした。夏のある日、転倒を懸念してシャワー浴のみで済ませると、栗原さんもその方が安心と言っていました。しかし、季節は移り、寒い冬。シャワー浴では身体が暖まらないようになってきたところに救世主がやってきました。すみれ浴室に入浴リフトが導入されたのです。栗原さんはゆっくり湯船につかり、「あったかいね」と喜んでいました。

## ★あざみグループ

### 『気配り名人』

あざみグループの朝の洗濯は、皆で行います。各々に役割があつて、衣類をハンガーに掛ける係、靴下や下着などを角ハンガーに干す係、洗濯カゴを片づける係と、協力し合いながら日課に取り組んでいます。

その中で、柳堀さんは一見地味ではありますが、とても重要な役割を担ってくれています。それは、『物干し竿にかけた洗濯物の位置を均等にする』事です。あざみグループの皆さんは選択干しに集中するあまり、すべての洗濯物を同じ竿にかけてしまっていたり(そのせいで洗濯物同士が密接してしまいます)、日の当たらない場所に干してしまつて

いる事がありません。柳堀さんはそこに気付いて、干す場所を整えてくれるのです。簡単なようで実はとても重要な仕事です。細かい事にも気を配る事ができる柳堀さんには、いつも助けられています。この気配り、私も見習わなければと、いつも思っています。  
(海老澤)

## ★なでしこグループ

### 『いつも元気な・・・❤️』

皆の前に出るわけでもなく、何もしないでいるわけでもなく、いつも自分のペースで黙々と物事をこなしている吉成さん。今年79歳になる吉成さんは、とっても元気で、仲間の

良きサポーター役であり良きおばあちゃんでもあります。誰にも分け隔てなく笑顔を見せてくれ、仲間が話しかけるといつでも笑顔で顔をくしゃくしゃにしています。吉成さんのステキな笑顔に日々癒されている私です。

いつか私も年をとった時、吉成さんのように元気で笑顔いっぱいのおばあちゃんになっていたいと思います。  
(豊田(美))

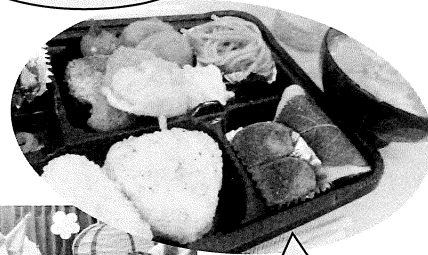
## 家族ふれあい会



ミュージック・ケアでウォーミングアップ



レクリエーション競技 みんな笑顔です。



特製 中台弁当



キレイダンス!!

### 利用者年齢調査

平均年齢（通所含む）

男性（28名） 48.64歳 [1.00↑]
女性（29名） 54.45歳 [0.98↑]
合計（57名） 51.55歳 [1.00↑]

※ [ ] 内、前年度比

#### 年齢分布

年代	男性	女性	全体
80代	1名	1名	3.5%
70代	3名	5名	14.0%
60代	0名	5名	8.8%
50代	9名	7名	28.1%
40代	7名	5名	21.0%
30代	5名	4名	15.8%
20代	3名	2名	8.8%

（平成31年3月31日現在）

### 平成31年度・令和元年度 入所・グループホーム担当職員

のぞみホーム	ひまわり	入江 豊田(惇) 林 小沼(聡)	千代田(補)	看護師
	すみれ	海老澤 宮崎 横田 阿部		内田
あゆみホーム	あざみ	井関 榊原 長岡	千代田(補)	看護師
	なでしこ	兼子 豊田(美) 千葉(知)		小沼(純)
グループホーム	千葉	多辺 田 中根 堀藤 白石	千葉(補)	高野
	梵天	中山 掛田 木之内		

## 跡 跡 跡

〔1月・2月・3月〕

〔寄付〕

▽飯島昭子様

▽野口勇様

▽安重のぞみ様

〔来園者〕

▽アンサンブルウィズ様（演奏ボラン  
ティア）▽羽生明義様（絵画指導）▽  
横田裕樹様（会計監査）▽永光パ  
トナーズ 渡辺様（会計指導）▽大野  
消防署 鹿窪様他1名様（警防調査）

▽マウンツ 阿部様（システム調整）

▽アイデム 清水様（打ち合わせ）▽  
北茨城市役所 高橋様（認定調査）▽  
水戸市役所 昆様（認定調査）▽日立  
市役所 前多様、雁沢様（認定調査）

▽鹿島特別支援学校 田山様（打ち合  
わせ、実習巡回）▽本谷雪絵様（打  
ち合わせ）▽飯野由枝様（契約）▽  
鹿嶋市 勝田様、長谷川昭子様、理  
佐様（施設見学）▽眞壁裕大様、清  
美様、つくば根学園 笹本様、角谷様  
（施設見学）▽久保田繁男様（相談）

〔施設実習〕

▽鹿島特別支援学校 本谷竜久さん  
（1月21、24、29、31日）

〔退職職員〕

▽祐尾恵子支援員（3月31日付）

▽近藤修広支援員（同）

▽伊藤梨花支援員（同）

▽関口綾子世話人（同）

▽寺本一美世話人（同）

▽老岐様

▽小野口里子様

〔1月・2月・3月誕生者〕

▽倉嶋素明さん（1月11日）

▽村田まさ子さん（1月15日）

▽池田勝弘さん（1月20日）

▽福栄都さん（1月21日）

▽永長未帆さん（1月29日）

▽鈴木理紗さん（2月8日）

▽辻みどりさん（3月4日）

▽玉川敦子さん（3月5日）

▽緒形英伸さん（3月6日）

▽大足光子さん（3月7日）

▽小野口由美さん（3月15日）

▽渡辺正さん（3月17日）

▽小沼一美さん（3月17日）

▽栗原久子さん（3月18日）

▽柴田優子さん（3月26日）

▽坂本繁広さん（3月30日）

## 編集後記

新年度が始まりました。

毎年のことですが、3月、4月は  
バタバタと慌ただしく過ごしていま  
す。今年はいつもの以上に忙しく、家  
事は最低限しかできず、家においても  
気持ち休まらない日々でした。

そんなある日、部屋の隅や家具の  
下にふよふよ漂うネコの毛玉を発  
見！しかも大量に！確かに春先のこ  
の時期はネコの抜け毛の季節なので  
すが、ここまで大量なのは…？

さて次は家の掃除ですか。今まで  
の分、まとめてやるのは骨が折れる  
だろうなあ（ため息）。（チヨダ）

